

船橋里山連絡会・チェーンソー講習会の報告

大項目	小項目	内 容
活動日時		2018年 2月14日(水) 09:30~15:00 晴 温度:3℃
活動の記録	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全講習会:木村氏の安全資料で、29年林業労働災害:32件(死亡ほとんど伐採作業) 30年もすでに8件(死亡)、多い。伐倒作業の基本を守り安全に作業すること。 ◎基本:決められた事を決められた通りにやる。知識と技術と判断力が必要。 ◎防護ズボン(チャプス)はチェーンソー作業を行う場合、絶対に着用すること。 ・伐倒作業では、大きな声で、指差確認。ツルの働きは大事なポイントで、幅の薄い厚い、高さで高い、低いがツルの効き目に影響あり、年輪の影響も考慮しておく。伐倒終了したら、安全確認して終了合図。あと作業の枝払い、玉切りも安全に作業の事。 ・伐倒作業のテーマ「隣家に架かる木を森へ倒す方法」 ・サイトの点検:どういう風に倒すか?その時に邪魔になる木は? 邪魔になる木を順序良く伐倒していく。中径木4本、小径木8本を伐る。 ・掛り木の処理:わざと掛り木にして、チルホールで引いて処理する方法を研修。木の浮かし方、滑車の掛け方、チルホールの取り付け方、安全使用方法を練習。
		滑車の取り付け
		チルホールをセット
		開会のあいさつ
		邪魔な木を伐る
		木村講師の話を聞く
		懸案のコナラを伐る
		引くための準備
		おーい、引いてくれ
コメント		今日の作業で非常に良かった事はチェーンソーがよく切れた事です。切れないと作業が進まないし、時間が掛かり、無理な作業も行いがちになる。切れることは安全に良い。木を倒した後ホツとするが、枝払い玉切作業が、チェーンソーを長く使います。特に安全に気を付けて作業すべきです。危ないなあと思ったら止める。そして、安全な方法でやる事。 コメント:木村 写真:米澤 まとめ:米澤
参加者 (敬称略)		会員:(役員)興松、石田、剣持、野本、米澤理、(里山の四季)山下、山口、佐川、古山、(コピス)村田、(ブリサ)宮澤、 会員 11名 森に見えた方々:木村講師 計 12名